

豊橋市民病院



□ 主な連携施設

【連携施設】

豊橋医療センター / 渥美病院 / 岡崎市民病院 / 刈谷豊田総合病院 / トヨタ記念病院 / 安城更生病院 / 半田市立半田病院 / 常滑市民病院 / 新城市民病院 / 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 / 名古屋大学医学部附属病院 / 中東遠総合医療センター

病院長名	浦野 文博
所在地	〒441-8570 愛知県豊橋市青竹町字八間西 50 番地
交通案内	豊橋鉄道バス「豊橋市民病院線」 ◇のりば 豊橋駅前・・・7番 ◇所要時間 約 15分 ◇料金 大人片道 270円

□ 病院の特徴

豊橋市民病院は一般病床 780 床を有する愛知県東三河医療圏の中核病院として救命救急センターを有する三次救急医療機関で、地域医療支援病院、DPC 特定病院でもあります。

2016 年には、高度放射線治療棟が完成し、放射線治療・検査機能が向上しました。また、手術センター棟が増築され、ハイブリッド手術やロボット手術等により適した設備環境が整備されました。

専門医取得のため、指導体制や必要な症例、設備面において十分な体制を整えています。皆さんと一緒に働けることを職員一同心よりお待ちしております。

□ 研修プログラムの特徴

【プログラム名】

豊橋市民病院内科専門研修プログラム

【研修目標】

本プログラムは、愛知県東三河医療圏での中核病院である当院を基幹施設とし、地域医療研修では、東三河（南部、北部）医療圏の様々な規模の施設と連携して研修を行います。特別連携施設を拠点に僻地医療研修も可能です。

一方で、隣接する西三河医療圏の同規模の施設との連携を用意し、さらには名古屋医療圏の高度先進医療施設での研修連携も備え、様々な臨床現場で経験を積むことができます。

【研修期間】 3 年間

【研修スケジュール】

症例は豊富で初年度までに課題の多くを研修できます。

3 年目を中心に 12 カ月間の地域医療研修を行います。当院に所属する場合は、2 年目からサブスペシャリティ研修を並行して実施し、4 年後もスタッフ医師として継続研修ができます。

□ メッセージ

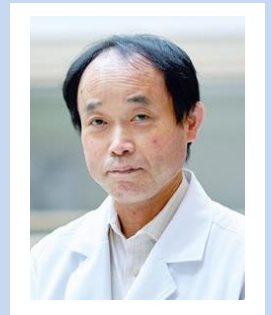
指導医（副院長兼循環器内科第一部長 成瀬 賢伸）

東三河医療圏は人口約 78 万人で当院は三次救急医療機関であるため、多彩で豊富な内科疾患を診る機会に恵まれています。

12 ヶ月間の地域医療研修では、同規模の連携施設とへき地医療、中小病院での医療研修を行います。一方で希望されれば名大病院での先進医療機関での研修も可能です。

3 年間の様々な医療現場の経験を通して自然に、幅広い視野に立った内科医になります。2 年目からサブスペシャリティ研修を開始できます。4 年目以降は総合診療科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科の 8 科でサブスペシャリティ研修ができます。

専門研修のため、当院の恵まれた研修環境を大いに活用してください。



□ 募集要項

・採用予定人数	12 人
・給与／月額	月ごとの平均支給総額 約 770,000 円 うち基本支給額 323,400 円（2022 年度実績）
・当直回数／月	2~3 回/ 1 か月あたり
・当直料／回	34,600 円/回
・その他	給与の他、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当など、各種手当が支給されます。
・応募連絡先	担 当 豊橋市民病院 専門医研修センター 電話番号 0532-33-6330 Eメール senmon-i@toyohashi-mh.jp